

### 1.アンケート回答者の所属

居宅介護支援事業所：7 訪問看護St.：4 薬局：6 病院：3 有料老人ホーム：1 地域包括支援センター：2 製薬企業：2 未記入：1

### 2.本日の講演会はどの様な形でお知りになりましたか？

当院からのFAX：20 当院のホームページ・フェイスブック：3 知人・友人：2 その他（メール：1）

### 3.感想

（企画）勉強になった：24 難しくてわからなかった：2（うち、難しいが参考になった：1） 簡単すぎた：0

（内容）わかりやすかった：23 わかりにくかった：0 どちらともいえない：1 未記入：2

（点数）10点：14 9点：1 8点：7 7点：2 未記入：2

#### 【点数の理由・感想】

- ・現場でおきている問題がよくわかって、その解決策と課題も理解できました
- ・日本と英国の違いは医療制度が大きい気がします。お話されてましたが、地域の健康（公衆衛生、public health）をもっと考えないといけないですね
- ・孤立を解決し健康度の向上と医療費の削減は行政から求められている課題で社会的処方も包括業務にとっても関連があることなので
- ・初めての参加です。他の勉強会よりも集中出来る内容だったので役立ちました
- ・早死にしたい訳ではないが、友達や周囲の人間との関わりを大切にしようと思った
- ・社会的孤立を病院で仕事をしていても感じています。今後はさらなる社会的孤立が課題であると危機感が大変わかりました
- ・地域の結び付きは大事と思っているが、なかなか難しいなあと思っています
- ・社会的な繋がりは人として大切だと思うが、本人にとっては「大きなお世話」かもしれない。本人も気付かず外に出たい人にはとても良い事だと思う
- ・リンカワーカーについて勉強できました
- ・お薬、医療以外での係わりで人とのつながりの大切さを特に感じました

- ・ 社会的処方必要性、意義を学べたが、自分に何が出来るか考えてた時に難しかった
- ・ 時間が短かった
- ・ 社会的処方について考え始めたところだったので、西先生の話聞きながら未来を想像していました
- ・ 全てを聞く事ができなかつたので8点だけれど、聞いた内容は10点です
- ・ 言葉が難しいのでカタコト話だと思っただが、内容は身近なことだとわかった
- ・ 社会とのつながりが大切ということをわかりやすい説明でよく理解できました
- ・ イギリス文化や国民性、財政が日本とは違い、グローバルな学びがあった
- ・ そうか、私がこの仕事を続けていて、いつもこういうことをしたい！というのはこれ＝リンクワーカーだったんだという感動です

#### 4.本日の講演会に参加して、どの様な事を学びましたか？

- ・ イギリスでの取り組みを知りませんでした。drawing Life in O.K.是非実行できたらと願いました。field NOTEのことも知りませんでした。孤立による死亡率がこれほど高いとは・・・
- ・ イギリスの認知症の方に対しての取り組み”自己表現をまわりが認める”事は日々の関わりの中でも生かしていけるのでは。社会参加を促す事の大切さ。その方に合った形での社会参加を促す事が出来るよう生活歴からアセスメントしていく必要がある
- ・ 社会的処方とはどのようなことかがわかった。リンクワーカーという言葉初めて聞き、とても興味をもった
- ・ 利用者の課題のとらえ方、向き合い方
- ・ 日本とイギリスの社会的処方の違い。精神障害の方々の支援は地域資源が良い処方薬になる
- ・ 地域の資源（人や物）に目を向けていきたいと思いました
- ・ 社会的処方の概論
- ・ 家庭医の負担を軽減する目的であること。日々、地域や家庭からの孤立を自分の仕事が補っていると感じ何か違うなと思っていたので参考になった
- ・ 社会的な孤立を減少していくことは有効だということ。地域で協力することが重要。きかけを作るのは良いと思う。
- ・ 身体的に動けなくても、モビリティで解決できるという視点を学びました

- ・ サークル等の社会的資源が地域によっては、いっぱいあるのにつなげるシステムや人がなくて、資源がムダになっている気がしました。
- ・ リンクワーカーの役割
- ・ 孤立を防ぐつながりの大切さ。自分が資源の一つになれば良いと思うのですが・・・
- ・ リンクワーカーの存在を知れた。社会的処方が増えれば一人一人の意識づけができ、住みやすい地域が出来ると思いました
- ・ 社会的孤立が早死だということ。社会的処方、病院では解決できない事を悩んでいる人が多い事。社会的処方が大切になってくると学びました
- ・ 街の中での役割が重要、孤立への処方箋→社会的処方、仕事・遊び・休日・・・おつとめが必要（社会的参加）
- ・ クリニックに持ち込まれる問題は、医療で解決できる問題よりも社会的処方で検討できて問題も多い。リンクワーカーが多い地域ほど地域として豊かになると伺い、本当にそうだと実感しました
- ・ 社会的処方の考え方と一人一人の考え方の重要性
- ・ 薬剤だけでなく社会的処方の重要性。実際に行動されているのを知って驚きできた

#### 5.本日の講演の中でもっと聞いてみたかったことはありますか？

- ・ 本を読み、onlineコミュニティに参加します
- ・ リンクワーカーの取り組みについて
- ・ リンクワーカーにはどのような種類があるのか
- ・ 成功事例について
- ・ 社会的処方の具体例、リンクワーカーの育て方orモチベーションの高め方
- ・ 日本での民生委員的役割を担うイギリスでの社会資源
- ・ 各地域の事例について
- ・ 社会資源ー自治会長、民生委員の方、地区社協の方など多くの方がいますが、あまり一般の方に活動を知られていないのではと思いました
- ・ 本を読みたいと思いました
- ・ 今後日本の中で、社会的処方が確立されるのはいつ頃を想定されているのか？
- ・ リーダーシップをとってくれる存在が見えやすいと良いのかと思っているのですが、社会的処方にお金がからむこともあるんですか
- ・ 実際に現在のリンクワーカーの数や具体的活動が聞いてみたいです

- ・ 社会的孤立をしている本人は自覚がないと思うが、どのようにきっかけを作っていくのか？
- ・ まず本を読んで勉強します
- ・ 社会的処方制度として行う上でのインセンティブについて日本でどう活動していくのか？医療機関との関わり

6.その他ご質問、ご不明な点がありましたらお聞かせください。

- ・ 精神科医療の現状
- ・ コロナウイルスの正しい行動を周知させるのも大事な役割だと思います
- ・ ありがとうございました